

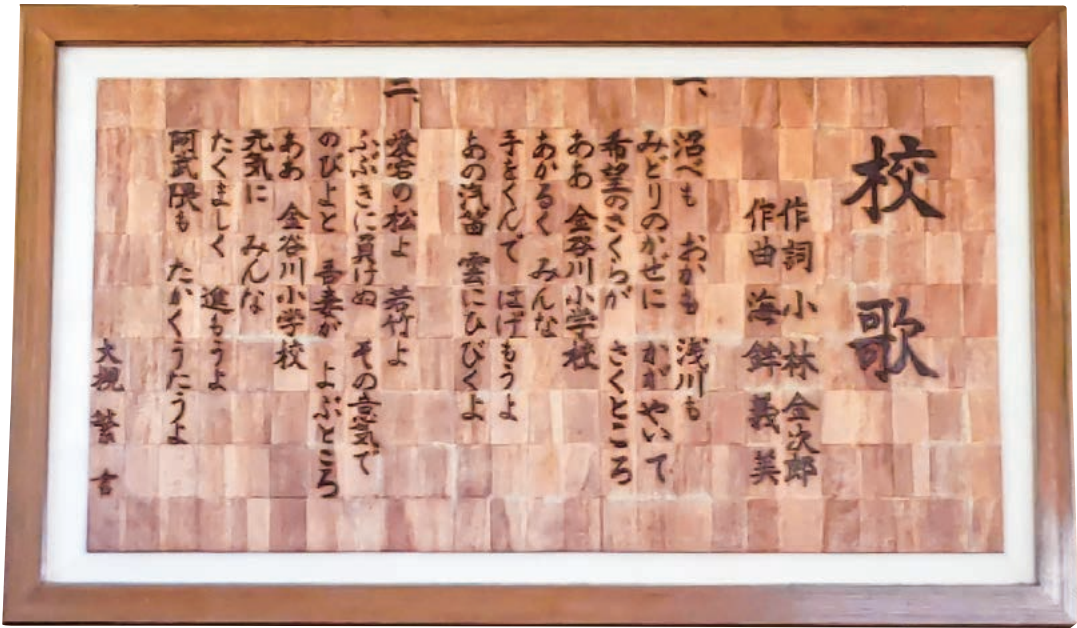
わかたけ

2024



明治から令和
金谷川小学校のあゆみ

福島市立金谷川小学校閉校記念誌



もくじ

ごあいさつ

金谷川小学校閉校にあたり
金谷川小学校閉校記念事業
実行委員会委員長 丹治 和明 2

御挨拶
福島市長 木幡 浩 3

金谷川小学校の閉校によせて
福島市教育委員会教育長 佐藤 秀美 4

「ありがとう金谷川」
金谷川小学校 校長 旗野 礼子 5

ありがとう「金谷川小学校」
金谷川小学校 PTA会長 玉坂 賢一 6

明治から令和まで金谷川小学校のあゆみ 7

金小の今 23

金小っ子の心 わすれずに 24

金谷川みんなのメッセージ 33

実行委員会名簿 47 編集後記 48

校歌 表紙裏 校章 裏表紙裏

表紙を飾っている空撮写真は、福島大学ドローンサークルによる撮影です。国家資格取得者の操作により撮影しております。



校歌の解説（小林金次郎）

第一章「希望わく春の歌」

みどりにもえるころ、金谷川の山も川も丘も、生きかえったようにかがやいてくる。

学校はその中につつまれ、ここで学ぶ幾百の子どもたちは、それぞれの希望を胸に、かたわらを通る汽車のように、空高く汽笛を鳴らしながら、はげむのである。

第二章「たくましく進む歌」

金谷川にはどこへ行っても松の緑、若竹の緑を見ることができ。

それはあらしにも、またふぶきにもまけない強い緑のすがたである。父母のように呼びかける吾妻の山は、その松や竹のような意気でのびよと言うように思われる。

そうだ、みんな、たくましく、進もう。あの阿武隈川も、高く歌っているではないか。大らかに、強く、そして正しく、ぐんぐんと希望に向かって進もう。

金谷川小学校 校歌

創立80周年記念／昭和31年10月20日制定

生々と（♩＝108位）

小林金次郎 作詞
海鋒義美 作曲



ごあいさつ

金谷川小学校 閉校にあたり

金谷川小学校閉校記念事業
実行委員会委員長

丹 治 和 明



福島市立金谷川小学校は明治6年5月に開校されて以来150余年、幾度もの制度改革・校地移転等の大変革を経て参りましたが、この間教職員をはじめ多くの方々が常に教育への情熱とたゆまぬ努力を重ねて来られて今の姿があることに對し敬意を表し、深く感謝申し上げます。

本小学校は、令和7年4月に開校する福島市立松陵義務教育学校へ移行することとなり令和7年3月末日をもって閉校することになりました。

長年、金谷川地区と共にあった小学校が無くなることは地区住民をはじめ転出された卒業生、縁を持たれた方々にとっても九腸寸断の思いであろうと思います。

この上は松川の地に行き学ぶ児童が新制度の学校で集団の教育機能を生かした豊かでより良い教育環境のもとで学び、伸び伸びと健やかに充実した9年間の学校生活をおくって欲しいと願って居ります。

学校閉校に伴い地区内コミュニケーションの低下や地区の衰亡化が懸念されるかとも思いますが、問題が生ずれば住民が寄り添い協力して解決・前進し、上昇志向でいきたいものです。

小学生時代に若干触れますと昭和31年に金谷川小学校校歌が制定され、発表会時には他の5・6年生と共に壇上で歌いました。良い経験が出来たと思っています。

結びに、金谷川小学校閉校記念事業遂行にあたりご賛同・ご協力を頂いた地区の皆様や特別にご賛同・ご協力を頂いた皆様、金谷川小学校教職員の皆様をはじめ諸事に亘りご協力を頂きました皆様、本実行委員会の皆様に厚くお礼申し上げます。

御挨拶

福島市長 木 幡 浩



福島市立金谷川小学校の閉校記念誌発行にあたり、御挨拶を申し上げます。

本校は、明治6年5月、松川村八丁目小学校の支校として黒沼神社神官宅において創立され、その後浅川小学校として独立、周辺校との分離や合併等を経て、昭和41年の福島市への編入を機に、現在の福島市立金谷川小学校と校名を改め、今日まで輝かしい歴史と伝統を築いてまいりました。

本校の校章は、校舎のまわりや土手にたくさん生えていたクローバーの葉を象り、黄金色の「金小」の文字を中央に配しています。踏まれても、大地に根を張って、自分の力でぐんぐん伸びていく子どもたちであってほしいという願いが込められています。子どもたちはこの願いを受け止め、心豊かに成長し、数多くの卒業生が県内外において幅広い分野で活躍しております。これもひとえに歴代の校長先生をはじめ、教職員の皆様の御尽力、保護者・地域の皆様の御協力、そして、児童の皆さんの努力の賜であり、心から敬意を表する次第であります。

この地で、子どもたちが一生懸命に育て築き上げてきた金谷川小学校は、地域の皆様にとってかけがえのないものであったと推察いたします。閉校にあたり、最後の在校生となった児童の皆さんには、本校での数多くの思い出を胸に、これからも勉学に励み、たくましく成長されることを心より願っております。

結びに、今日まで長年にわたり本校発展に御尽力をいただきましたすべての関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げますとともに、皆様方の御健勝を祈念いたしまして、御挨拶いたします。





金谷川小学校の 閉校によせて

福島市教育委員会教育長

佐藤 秀美



福島市立金谷川小学校の閉校にあたり、あいさつを申し上げます。

本校は、明治6年5月に松川村八丁目小学校の支校として、黒沼神社神官宅を仮校舎として開校し、幾度かの校名変更を経て、昭和41年6月に福島市立金谷川小学校として今日に至っております。昭和61年3月には、新校舎が完成し、同年7月には落成記念式典が盛大に挙行されました。

本校は、151年の長きにわたる歴史の中で、これまで多くの優れた人材を県内外に輩出して参りました。昭和31年に創立80周年を記念して制定され、長年にわたって親しまれてきた本校の校歌にある「愛宕の松よ 若竹よ」の一節のように、児童の皆さんには、たくましく枝を伸ばす松や、しなやかに成長する若竹のように、健やかに成長していくことを願っております。

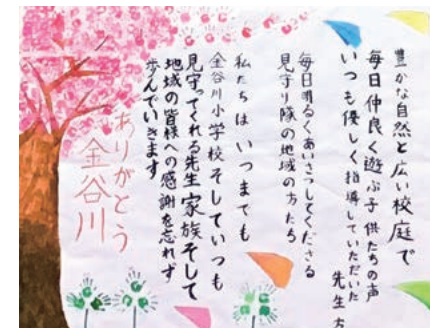
これまで地域とともに歩み続けてきた本校は、令和7年3月末をもってその長い歴史に幕を下ろすことになりますが、本校を巣立っていった数多くの卒業生と最後の在校生となる58名の色鮮やかな思い出が、この校舎には刻み込まれ、確かな証となっています。本市教育委員会といたしましては、この学校に寄せる皆様方の思いをしっかり受け止め、新たに開校される松陵義務教育学校での教育の更なる充実に努めて参りたいと存じます。

結びに、これまで金谷川小学校の発展に御尽力くださいましたすべての関係者の皆様に敬意を表するとともに、衷心より感謝を申し上げ、あいさついたします。

「ありがとう 金谷川」

金谷川小学校 校長

旗野 礼子



金谷川小学校最後の学習発表会となった10月。6年生が締めくくった言葉です。この言葉に、すべての思いが込められています。

令和6年度で金谷川小学校が閉校し、新たに開校する松陵義務教育学校へ移行することが決まってから、全校児童・全教職員が一丸となって新スローガン「金谷川プライド。自分から！しなやかに！粘り強く！」のもと、全力で歩みを進めてきました。「金谷川プライド」は、明治から令和という151年の歴史を紡いでもくださった先輩方へのリスペクト、温かく深い愛情を注いでもくださった地域の方々への感謝、そして自分たちもその一員として、「胸を張り前を向き、未来に向かって羽ばたいていくのだ」という意気込みを表しています。子どもたちは、当たり前のように、朝の登校から地域の皆様に見守られて学校に向かい、様々な地域学習や行事等でたくさんの方々と触れ合いながら学び、心も体も大きく成長させました。この日常が、子どもたちにとっての宝物であったと思います。

金谷川地区で磨かれ、金谷川小学校で育った子どもたちは、これからも、輝き続けます。

終わりに、これまで金谷川小学校を支えてくださった多くの皆様に感謝申し上げます。

誠にありがとうございました。





ありがとう 「金谷川小学校」

金谷川小学校 PTA会長

玉坂 賢一



金谷川小学校は令和6年度をもって、明治6年から151年にわたる輝かしい歴史に幕を閉じることになりました。これまで、地域一丸となり伝統を築きあげて参りましたが、改めてその歴史に学校が地域の中心的な役割を果たしていたと実感しております。

「金谷川小学校」の名前がなくなる寂しさと、金谷川小の卒業生にとっては出身校が無くなってしまふ事からその思いは複雑で寂しさも、ひとしおなものがあります。

最後のPTA会長として、また最後の在校生の保護者の一人として旗野校長先生をはじめ、たくさんの方々に支えられながらPTAのいろいろな活動に参加させていただく中で、貴重な体験をさせていただきました。

金谷川小学校での8年間は、子どもの成長とともに、多くの思い出を積み重ねることができたことを深く感謝いたします。

これからは、松陵義務教育学校として新たな歴史を刻んで行くこととなりますが、何事にも元気な金小っ子の心を忘れずに持ち続け、大幅に増える新しいお友達と明るく楽しい学校生活を送ることができるよう願っております。

最後に、歴代のPTAの皆様、教職員の皆様をはじめ子どもたちの安全をこれまでずっと見守り続けて下さった地域の皆様に対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。



昭和初期の金沢小学校

郡内に類のないりっぱな浅川小学校幸道校舎

金谷川小学校のあゆみ



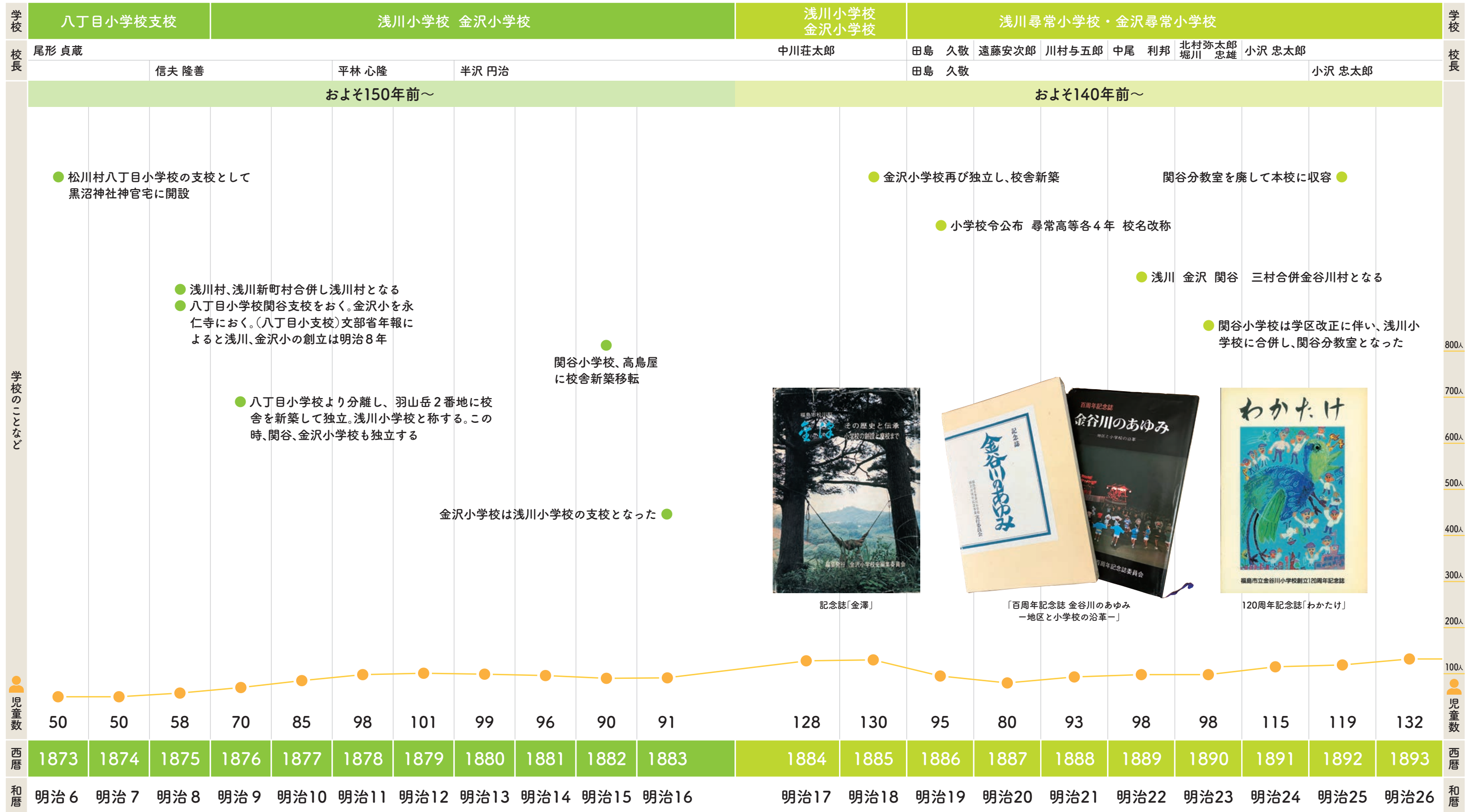
120周年を祝って

100年目の金小旧校舎



心のより所、令和6年の金小全景

■校長は昭和18(1943)年まで上段に浅川小学校、下段に金沢小学校を示す



- 若松県が大区小区制をとりいれる
- 太陽暦を採用開始
- 第一国立銀行(現みずほ銀行)設立

- 西南戦争がおきる
- 缶詰工場が広まる

- 平民苗字必称義務令
- 東京株式取引所(現：東京証券取引所)設立
- 木村屋あんパン発売開始
- 3県を改廃して福島県になる



● 日本銀行 設立

- 市制・町村制が施行される
- 町村合併により福島市域に2町30村ができる

- 東北本線 福島駅・松川駅が開業

- 炭酸飲料用ラムネ瓶国産化開始

- 帝国ホテル開業



学校	浅川尋常小学校・金沢尋常小学校										浅川尋常小学校・金沢尋常小学校										学校
校長	菅原 道胤				渡辺伊佐美					岸 力治				桑原 景一							校長
	菅原 道胤	荒	利助	服部蔵之助	岸 力治					古川 常吉											
学校のことなど	およそ130年前～										およそ120年前～										

● 日清戦争始まる

● 三陸沖地震

● 吾妻山が噴火

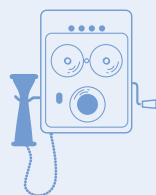
● 第1回近代オリンピック、アテネで開催



● 森永キャラメル発売

● 上野、新橋両駅内に初めて公衆電話機設置

● 国産ケチャップ生産開始
● ライト兄弟が初飛行に成功



● 日露戦争始まる

● ソース製造販売開始(現：ブルドックソース)

● 小学校令が改正され義務教育が6年間になる
● 福島市が市制施行する
● 福島市内に電話開通。加入は188台

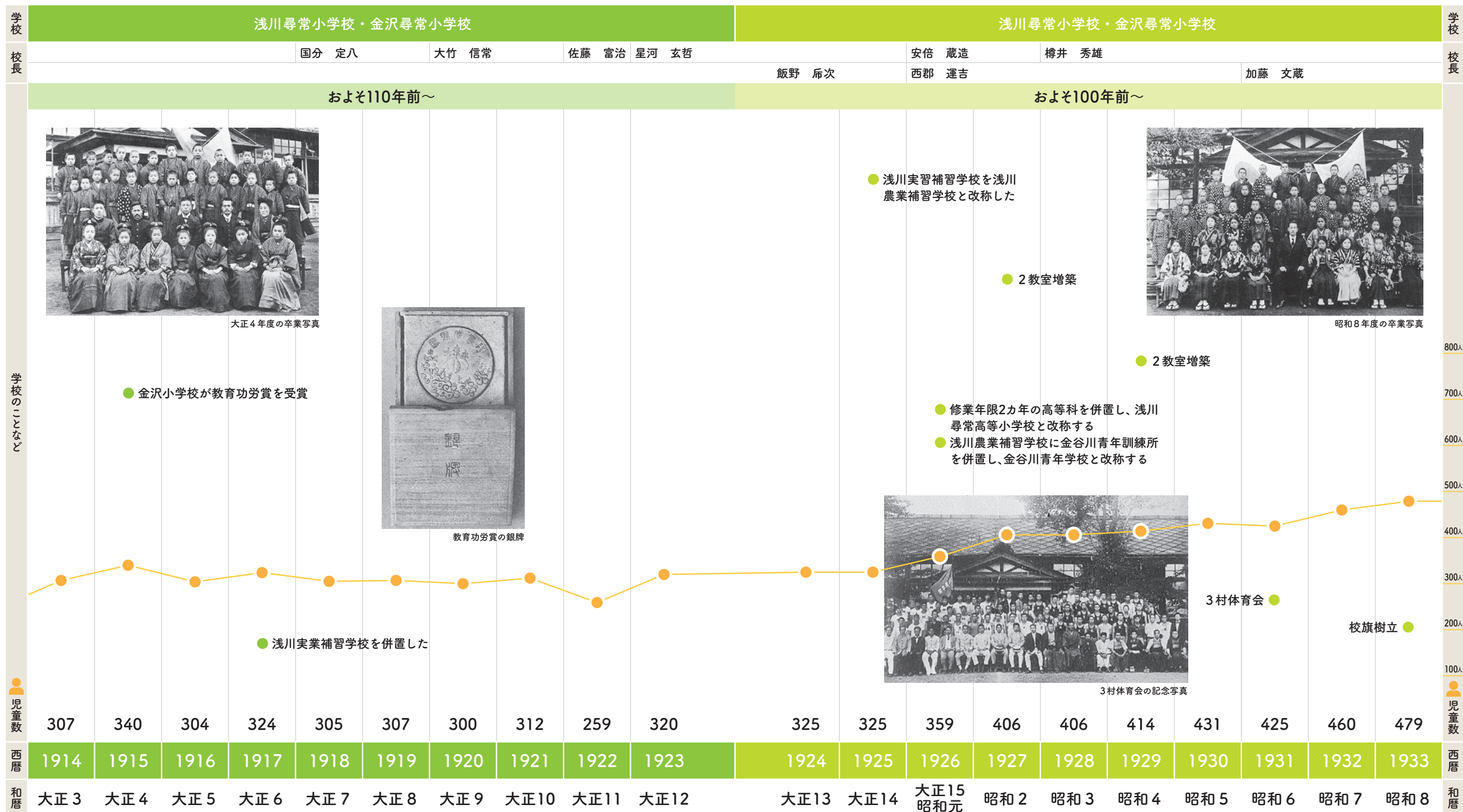
● 国産マーガリン生産開始

● 東北地方大飢饉

● 味の素発売
● 東北本線 金谷川駅が開業



● 英客船タイタニック号が氷山に衝突して沈没



● 第一次世界大戦始まる

● 理化学研究所 設立

● メートル法が公布される

● 普通選挙法成立(選挙権男性のみ)

● 満州事変がおこる



● 福島市でも米騒動がおこる
● 第一次世界大戦終わる

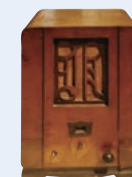
● カルピス発売開始

● 関東大震災がおこる(震災恐慌おこる)



● 甲子園球場 竣工

● キューピーマヨネーズ発売開始













● NHKラジオ体操放送開始

● 5・15事件がおこる

● 国際連盟を脱退する

■校長は昭和19(1944)年から金谷川小学校扱い(統一)

浅川尋常小学校・金沢尋常小学校							浅川金沢国民学校			金谷川村国民学校(金沢分校)		金谷川村国民学校(金沢分校)			金谷川村立金谷川小学校																										
荒 四郎							草野 信 伏見 忠亀			村島 勝衛			阿部 興基			岩谷 唯近 武藤 昌			尾形卯之吉							斎藤 平松															
PTA会長																					尾形卯之吉		斎藤 平松																		
およそ90年前～										およそ80年前～																															
 昭和9年度の卒業写真							 昭和12年度の卒業写真							 昭和23年度の卒業写真							 昭和25年度の卒業写真																				
● 教室改造 昇降口増築 ● 奉安殿落成式							● 金沢国民学校と統合し、金沢分校をおく ● 簡易水道設備 ● 国民学校令の施行に伴い、金谷川村国民学校と改称し、初等科、高等科をおく							● 4教室増築、青年学校専用教室新築 ● 奉安殿を撤去、後に黒沼神社(字宮本)に移築							● 学制改革六三制実施により金谷川村立金谷川小学校と改称し、高等科の児童は希望により新制中学校に吸収された。青年学校は廃止 ● 給食調理室設置 ● 中学校校舎落成 ● ピアノ設備、校長住宅新築																				
 昭和11年度の卒業写真							 昭和16年度の卒業写真							 昭和18年度の卒業写真							 昭和19年度の卒業写真							 昭和24年度の卒業写真							 昭和28年度の卒業写真						
479 473 484 498 498 492 481							491 499 651							703 779 792							647 596 610 609 615 594 566																				
1934 1935 1936 1937 1938 1939 1940							1941 1942 1943							1944 1945 1946							1947 1948 1949 1950 1951 1952 1953																				
昭和9 昭和10 昭和11 昭和12 昭和13 昭和14 昭和15							昭和16 昭和17 昭和18							昭和19 昭和20 昭和21							昭和22 昭和23 昭和24 昭和25 昭和26 昭和27 昭和28																				

- 東北地方が大凶作となる
- キンチョール発売
- 日中戦争がおこる

● 2・26事件がおこる



- 太平洋戦争が始まる
- この年米の配給制が始まる

● テレビジョンの実験放送が始まる

- 渡利に原子爆弾の模擬爆弾が落とされる
- ポツダム宣言を受諾する
- 第二次世界大戦(太平洋戦争)が終わる
- 普通選挙法改正(男女共に投票権をもつ)



● 日本国憲法が公布される





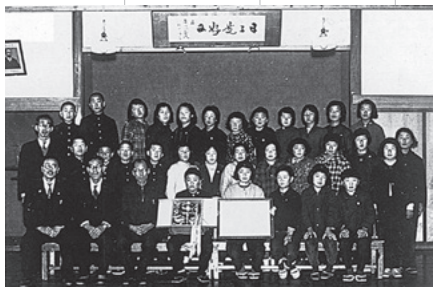


● 白黒テレビジョンの本放送を始める



● NHK第一回紅白歌合戦(ラジオ)

● 永谷園お茶漬け海苔発売

● 松川事件がおきる(8月)

学校		松川町立金谷川小学校										松川町立金谷川小学校			福島市立金谷川小学校							学校
校長		武藤 俊雄					安藤 星喜					伊藤 良策			鈴木 彦衛				菅野 健蔵		校長	
PTA 会長		渡辺 芳江					斎藤 清					半沢 安三			渡辺 藤宗		沼崎 虎夫				PTA 会長	
		およそ70年前～										およそ60年前～										
学校の ことなど																						
	校舎落成記念(昭和29年)		体育館落成記念式(昭和30年)												昭和34年度の卒業写真			芳竜書道会 優勝記念の尾形好春君を囲んで(昭和35年)				
	● 校舎新築落成、第一校舎を撤去し、校地を拡張する		● 校歌制定												● 福島市に合併 ● 福島市立金谷川小学校と改称する			● 特殊学級が2学級となる。 ● 養護教員配置				
	● 創立80周年記念式典挙行、体育館落成、帽章バッジを制定する。松川町立金谷川小学校と改称する														● 旧校舎撤去、プール本体及び浄化装置完成 ● イタリアポプラ50本植樹 ● 金谷川中が松川中に統合、翌年に松陵中となる			● 学研教育賞受賞(交通安全教育)				
	● 松川、金谷川、水原合併 ● 下川崎合併														● 創立90周年記念式典挙行 ● グランドピアノ設置 ● 放送施設完備			● 児童血液型検査				
			● 農休廃止															● 金沢分校閉校式を挙行 ● 3月廃校、4月からスクールバス運行 ● 特殊学級設置				
			● 金沢分校は4学級編成となり、全学年単式学級となった(1教室増設)															● 交通遊園地完成				
			● 校舎改築第二期工事完成 ● 騒音排除期成同盟発足															● 福島市研究指定校(体育)となり2年間の研究成果を発表した				
			● JRC加盟、国語研究指定。若竹(学校新聞)印刷															● 宿日直が廃止された ● 学校安全優良校として表彰された				
			● 雲梯、シーソー設置、分校窓改造																			
児童数																						
	どうぶき 婦人会・消防団の人々の手で(昭和29年)														いよいよバスに乗りこみます 発車オーライ(昭和44年)							
西暦	633	656	645	652	669	684	624	659	561	525		511	476	423	392	385	356	329	332	334	317	西暦
和暦	昭和29	昭和30	昭和31	昭和32	昭和33	昭和34	昭和35	昭和36	昭和37	昭和38		昭和39	昭和40	昭和41	昭和42	昭和43	昭和44	昭和45	昭和46	昭和47	昭和48	和暦

● 集団就職列車運行が盛んになる

● 松川事件の被告が最高裁判所で無罪になる

● 大塚製薬オロナミンC発売

● 日清食品カップヌードル発売
● 福島市内の路面電車が廃止される

● 東京タワー完成

● ソ連の無人探査機ルナ9号が初の月面着陸成功
● 松川町・信夫村が福島市に合併する

● NHKおかあさんといっしょ放送開始

● 東京オリンピック開催
● 東北本線が電化、複線化される

● 漫画ドラえもん連載開始
● アポロ11号が月面有人着陸成功

● カラーテレビジョン放送を始める
● 丸美屋のりたま発売

● 信夫山トンネル(2車線)が開通する
● 日本初の人工衛星おおすみ打上げ成功



学校	金谷川小学校										金谷川小学校										学校			
校長	新村 正男				鹿又 三夫		色摩 武夫				佐藤 傳				佐藤 恵			佐々木十志春			佐藤 悦雄			校長
PTA 会長	安田 保雄 斎藤 壮司				長南 太一				長南 常信						齋藤 一美			渡辺 清吉		高橋 政勝 山田 泰一		齋藤 忠吉		PTA 会長
学校の ことなど	およそ50年前～										およそ40年前～													
	 <p>● 宿泊訓練(県立少年自然の家)</p> <p>● 創立100周年記念式典を挙行</p> <p>● 事務職員配置</p> <p>● 給食配膳室を新設</p> <p>● 特殊学級2学級のうち、1学級が病弱学級となる</p> <p>● 南部給食センター方式による給食を開始</p> <p>● 校旗を作成、校旗樹立式を行う</p> <p>● 金谷川小学校移転改築期成同盟会が設立される</p> <p>● 特殊学級(精簿)1学級となる</p> <p>● 福島大学と金谷川駅周辺</p>										 <p>● 新校舎起工式(校舎、体育館)</p> <p>● 校舎落成記念式典挙行(含 プール開き)</p> <p>● 放送室、体育館放送設備更新(市教委)</p> <p>● 砂場新設(PTA寄贈)</p> <p>● 福島大学によるパソコン実習</p> <p>● 小鳥小屋完成(昭和14、16、36年度卒業生寄贈)</p> <p>● 校内テレビ放送設備一式設置(PTA寄贈)</p> <p>● 放送室設備、スタジオ照明など(松川羽山土地区画整理組合より寄付)</p> <p>● 北瓦スクールバス運行開始(平成4年から平成14年まで)</p> <p>● ミステリー列車運行</p> <p>● フィールドアスレックス完成(PTA寄贈)</p> <p>● 学校出入口に案内板設置(PTA寄贈)</p> <p>● 父母と教師の会、第37回県PTA大会で表彰される</p> <p>● 金谷川小学校運動会(昭和60年5月)</p>													
	 <p>金谷川小学校移転地周辺(昭和58年)</p>										 <p>金谷川駅舎(昭和58年3月改築)</p>													
	福島市指定研究校となる 社会科57、58年度																							
	浅川の一部が蓬萊小学校学区(自由学区)となる																							
	夜間警備を委託、機械警備となる																							
	社会科研究発表会を行う																							
	児童数	312	293	287	281	267	270	268	283	288	290	315	313	317	303	295	277	274	267	243	219	児童数		
	西暦	1974	1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	西暦		
	和暦	昭和49	昭和50	昭和51	昭和52	昭和53	昭和54	昭和55	昭和56	昭和57	昭和58	昭和59	昭和60	昭和61	昭和62	昭和63	昭和64 平成元	平成2	平成3	平成4	平成5	和暦		

● セブンイレブン日本1号店出店

● 東北新幹線(大宮ー盛岡間)が開通する

● 任天堂スーパーマリオブラザーズ発売

● 福島市南体育館完成

● タイター「スペースインベーダー」発売

● 金谷川駅舎を橋上化

● グリコ森永事件

● ソ連(ロシア)チェルノブイリ原発事故

● 山形新幹線(福島ー山形間)が開通する



● 田部井淳子さん(三春町出身)が女性として世界初エベレスト登頂成功

● アメリカスリーマイル島で原発事故発生

● 福島大学金谷川キャンパス移転開始

● TOTOウォッシュレット発売



● 国鉄民営化、JRとなる

● 消費税導入

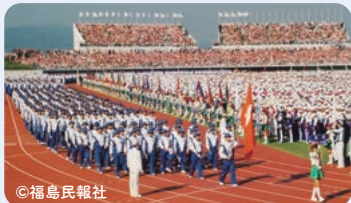
● アニメ それいけ!アンパンマン放送開始

● 福島県立医科大学光が丘キャンパス完成



学校	金谷川小学校										金谷川小学校										学校															
校長	根本 歌子					豊田 啓助					山浦 勝夫					菅野 晴雄					穴澤 耕二					菊池 淳					後藤 修					校長
PTA 会長						加藤 佳一 渡辺 義明					渡邊 進司 長南 浩幸					石川 秀夫 丹治 昭一					長南 俊二 齋藤 直喜					柴田 敏勲					PTA 会長					
	およそ30年前～										およそ20年前～																									
学校のことなど	 福島市指定研究校(平成8年)					 金小稲刈り(平成13年)					 福島市小さな善行表彰(平成14年)					 ● 福島市小学校陸上競技大会 Aブロック総合優勝					 ● 福島市小学校陸上競技大会 Aブロック総合優勝					 ● 福島市小学校陸上競技大会 Aブロック総合優勝										
	● 福島市指定研究校となる					● タイムカプセル2000記念式典実施					● 音楽室手すり設置					● 福島市小学校陸上競技大会 Aブロック総合優勝					● 福島市小学校陸上競技大会 Aブロック総合優勝					● 福島市小学校陸上競技大会 Aブロック総合優勝										
	● 通学区域の規則改正により松川町のうち的美郷三丁目、浅川、金沢の松川小学校通学区域を除く全地区及び関谷、光が丘の全地区となる																									校地内に歩行路(白線)設置(平成25年)										
	● よい歯の学校「優秀校」として表彰される																									● 書きぞめ展学校賞受賞					●					
	● 創立120周年記念式典を挙行																									校地内に歩行路(白線)設置					●					
	● 市指定「算数」研究発表会を行う																																			
	 福島県幼小中盲聾養護学校教職員研究論文特選を受賞					 タイムカプセル掘り起こし(平成12年)					 金谷川、孫見守り隊(平成18年)					 福島市小学校水泳競技大会(平成21年)					 プール濾過タンク・循環ポンプ交換															
						● コンピュータ室設置																														
						● 固定遊具設置																														
児童数	208	214	195	181	175	169	163	165	157	151	151	143	134	125	127	122	108	110	109	101	児童数															
西暦	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	西暦															
和暦	平成 6	平成 7	平成 8	平成 9	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	和暦															

- 阪神淡路大震災
- 地下鉄サリン事件
- 福島南バイパス油井高架橋開通
- ふくしま国体



小惑星探査衛星「はやぶさ」打上げ成功

● シドニー五輪で高橋尚子が女子マラソン金メダル

● 米で最悪の同時多発テロ

● 野口英世博士の新千円札発行



● 映画「フラガール」が日本アカデミー賞で4部門受賞

● 裁判員裁判がスタート

● 小惑星イトカワから「はやぶさ」帰還

● iPS細胞の京大教授山中伸弥にノーベル生理学・医学賞
● 地上デジタル放送完全移行
● 東京スカイツリー竣工

● 東日本大震災と東京電力第1原発事故が発生
● 世界人口が70億人を突破
● サッカー女子W杯で、なでしこジャパン世界一



● 東北六魂祭が福島で開催される

学校	金谷川小学校											
校長	後藤 修		渡辺 雅人		奥山 満		穴戸 与一		旗野 礼子			
PTA会長	佐々木和洋		山田 泰広		佐々木規友		遊佐 哲		鈴木 英大		玉坂 賢一	
学校の ことなど	およそ10年前～											
	<ul style="list-style-type: none">●書きぞめ展学校賞受賞●教室エアコン設置 <p>福島市小学校水泳競技大会 ● Aブロック総合優勝</p>							<ul style="list-style-type: none">●タブレット端末導入●福島市教育委員会より放射線教育推進校の指定を受ける				
	<ul style="list-style-type: none">●書きぞめ展学校賞受賞●校地内外除●関谷浅川環境保全組合コンクール入賞				タブレット端末導入(令和3年)			<ul style="list-style-type: none">●福島市教育委員会指定研究公開(放射線教育)				
					<ul style="list-style-type: none">●プール・校庭南ブロック堀改修							
					<ul style="list-style-type: none">●校庭土改善事業が完了●トイレ洋式化●防犯カメラ設置(PTA有志)			<p>メジャーリーガー大谷翔平選手から金谷川小学校に届いたグローブとメッセージ</p>				
	関谷浅川環境保全組合コンクール							<p>松川地区自治振興協議会／松川町 ● 町会長連合金谷川地区代表／金谷川小学校父母と教師の会より松川地区義務教育学校への同意書提出</p>				
					トイレ洋式化(平成30年)			<p>福島市教育委員会より学力向上サポート事業に ● よる学力向上担当指導主事派遣の指定を受ける</p>				
												
	児童数	98	96	102	83	83	87	81	75	69	64	58
	西暦	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
和暦	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	平成31 令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	

- 消費税が5%から8%に増税

●屋の長寿番組「笑っていいとも」が放送終了

●ラグビーW杯で日本初の3勝、五郎丸ポーズが流行

●普通選挙法改正(満18歳以上が投票権をもつ)

●西田敏行さんに旭日小綬章、県民栄誉賞

●スマホゲーム「ポケモンGO」の日本配信

●アジア初の新元素命名権を獲得(理化学研究所)原子番号113番をNh ニホニウム
- 消費税が8%から10%に増税

●沖縄の首里城が炎上

●中合福島店が閉店

●新型コロナで緊急事態宣言

●ロシアのウクライナ侵攻

●大相撲春場所でも新関脇若隆景が初の賜杯

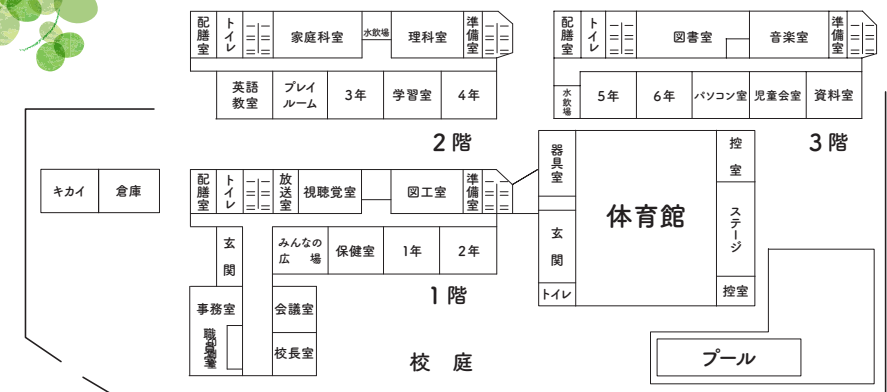
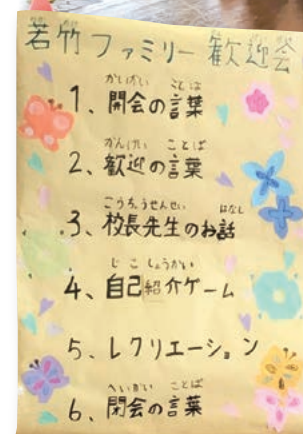
●東京五輪・パラ1年延期で無観客開催
- 大谷翔平選手が日本の子どもたちにグローブ寄贈

金小の今

令和6年度学校要覧より



若竹ファミリー歓迎会(1年生入場)



日課表

月	火	水	木	金
8:05	登校 きらきらタイム・清掃			
8:20	読書・音読	清掃	漢字	清掃
8:30	学級朝の会・健康観察			
9:15	1	1	1	1
9:25	2	2	2	2
10:10	業間 火・木…全校運動 水…全校体育			全校集会
10:25	3	3	3	3
11:15	4	4	4	4
12:10	給食 苗みがきタイム			
12:50	昼休み			
13:30	5	5	5	5
13:35	6	6	6	6
14:20	6	6	6	6
14:35	6	6	6	6
15:20	打合わせ 職員会議 各種協議会 教材研究 授業準備 研修等	教材研究 授業準備 研修等	クラブ	打合わせ 職員会議 各種協議会 教材研究 授業準備 研修等



11月 マラソン記録会

金小っ子の心 わすれずに

令和6年度 在校生・教職員メッセージ



1年

金谷川小学校の素敵な思い出と共に、これからも子どもたちがのびのびと学んでいるように願っています。 鴨原 美織

友達と一緒にサーキットしたことが楽しかった。 鈴木 杏佳

1年かんの思い出を
おもしろい
思い出が
たくさんあると

1年かんの思い出が
思い出が
思い出が
思い出が

1年かんの思い出が
思い出が
思い出が
思い出が

1年かんの思い出が
思い出が
思い出が
思い出が

1年間だけお世話になりました。
わたなべかほ

ありがとう
ちゃんとした

ずっと、かなやが
小学校がよかった
な。きんち る

1年かんの思い出が
思い出が
思い出が
思い出が

金小での2年間は、みんななかよしで、たくさんの思い出ができました。とくにうんどう会が1ばん楽しかったです。 ぶく田 いるは

金谷川小学校
149年間 ありがとう。
わたなべかほ

2年間たのしかったです
なべみらい

たくさんの思い出を
ありがとう
かとう ここな

2年間 ありがとう。
たのし、たよ
ととろとろ

2年

金谷川の豊かな自然と明るく素直な子どもたちに出会い、かけがえのない日々を送ることができました。 武田 佳乃

金谷川小学校で2年間、たくさんの思い出ができました。 石川 たいが

金小 ありがとう
広い木交いがある
うれしかったよ



3年

たくさんの友達と、楽しい思い出がいっぱいできました。
3年間ありがとうございました。
吉田 豪汰 良子

大きいグラウンドで、ハンドベースボールをした事が楽しかったです。
半沢 蓮音

4年間勉強や、遊んだりするために学校を使わせていただいて、どうもありがとうございました。
大槻 紗椰

金谷川小学校がなくなってしまうのは悲しいです。
4年間ありがとうございました。
福田 奏介

4年

この金谷川小学校でたくさんの子ども達と出会い、一緒に活動できたことを嬉しく思います。保護者の方、地域の方にも大変お世話になりました。9年間、ありがとうございました。
本郷 祐美

金谷川小学校での3年間楽しかったよ。
たんじ あやか

金谷川小学校いまで本当にありがとうございました。
石川 輝人

おじいちゃんとお母さんとお姉ちゃんか通っていた金谷川小学校に入学できて楽しかったです。
玉坂 悠理奈

わたしはこの学校で、たくさんの友達と思い出を作ることができました。ありがとうございました。
熊谷 葉那

たくさんの思い出をありがとう。永遠に...
金谷川 太田 淳一

とっても楽しい小学校で過ごした。ありがとう。
よもぎ 田二

金谷川小学校ですごした思い出は、ずっとわすれられません。
丹野 琴都美

楽しかったです。
長南 莉乃

いざ開校となると目になみだぐにいんできました。ありがとうございました。
金谷川小学校 山田 翔太

4年間は、短い時間でしたが、たくさんの思い出のある金谷川小学校を卒業しました。
前田 聡里

4年間、金谷川小学校に通い、たくさん学びました。金小、ありがとう。
加藤 高伍

三年間、今までありがとう。
河野 心結

たくさんの友だち、やさしい先生。ささえてくれてありがとうございました。
金谷川小学校 大畑 孝

広い校庭が大好きです。
菅野 惺也

金谷川小学校 楽しい思い出をありがとう。
加藤 蒼大

ありがとう。
木反 橋 慶人

友達の大切さを教えてくれて、ありがとうございました。ささえてくれて、ありがとうございました。
菊池 悠仁

金谷川小では4年間だけでしたが、いい思い出にこの4年間でした。4年間ありがとうございました。
石川 晴蘭

金小、ありがとう。
渡辺 悠介



5年

自然にかこまれた金谷川小学校、
きれいな校、たくさん木、いろんな
虫、大きい山、自然が大好き
金谷川小学校 須田亜沙美

卒業式、金小でやりた
かった!! 今までありが
とう! 鈴木愛佳

6年間、ぼくを育ててくれて
ありがとう金谷川小学校
加藤里陸

悲しいけど、6年間金谷川
小学校で過ごせて、卒業
できてとてもうれしいです。
菊地柚衣乃

6年

みんな仲良し 金谷川
みんなで協力 金谷川
キラキラ笑顔 金谷川
楽しい毎日ありがとう 金谷川小学校
令和6年度職員 丹羽美代子

金谷川小学校最後の運
動会で、本気で頑張った
事、忘れません。
半沢来斗

ひいじいちゃんも じいちゃんも、お
父さんも、兄、姉も通った金谷
川小学校に5年間通えてうれ
しかった。思い出たくさんあ
るよ。長南心夏

金谷川小学校が無くなってしま
い残念です。
最後の6年生なのも何かが複雑な
感じがしました。熊谷 旺介

人数が少ないためひとり
ひとりの関わりが深く
絆も深まりました。渡辺 皓仁

あたにかさと やさしさに包まれ
に歴史ある金谷川小学校。
ここで過ごせたことをうれしく
思います。ありがとう。鈴木もゆ

金谷川小学校で、いろんな学習や
運動、たくさん行事をして
成長できました。長南 聖空

今までこのクラスで
たくさん思い出を
作れてよかった。柴田秋那

金小のみんなと学んだ
5年間は、一生の宝物です。
金谷川小学校
ありがとう。渡邊明佳

いつも私たちの学校生
活を見てくれてあり
がとう。一生バに残る思い出
になったよ。菊地 晴

今までの金谷川の歴史と私
たちの代までの思い出をありが
とうございました。
長澤 瑞

149年間たくさんの人を成長
させてくれた金谷川小学校
ありがとう
渡邊 晴翔

宿泊学習の思い出が楽しかった
運動会では力を合わせてがんば
た。たくさん思い出ありがとう
加藤 悠聖

金谷川小学校での
生活は楽しかった。
たくさん思い出ありがとう
加藤 琉斗

金谷川小学校すきな思い出
ありがとう
蓬田 結来

6年間あるという間に終わってし
またけどたくさん思い出が
出来てよかったです。阿部 葵

金谷川小学校での
思い出は私の宝物です。
ありがとう。菅野心春

金谷川小学校がな
くなってさみしいです
長南来希



金谷川みんなの メッセージ

明治22(1889)年に旧金沢、関谷、浅川村の3村合併の際に「金」「谷」「川」の1字ずつを取って金谷川村と名付けられたという金谷川地区。

金谷川小学校に育まれた私たちのかけがえのない思い出、さまざまな思い、今後への希望を小さなスペースにぎゅっと詰め込みました。校舎や教室や花壇、給食や運動会やサツマイモ掘りなどなど、懐かしい写真も満載です。どうぞお楽しみください。



地名の由来

福島県から南へ十時、バス「金谷川」の地名は明治二十三年、旧金沢、関谷、浅川で三十分ほどで松川町地域になる。四号国道は旧東北本線の東北自動車道並の幹線が走っている。

現在松川町浅川、松川町金沢となり金谷川の名は住所には出てこないが国鉄駅名やバス停、小学校、郵便局、農協、婦人会の団体の名称にその名をとどめている。明治二十年の「信夫郡土地状況及び民情」によると当時の合併予定では水原村と関谷村の二つで「水谷村」、浅川村と金沢村で「金川村」となるはずだったという。

旧金沢・関谷・浅川村が合併

現在この地域には昭和五十六年完成予定の福島大学の建設が進んでいるのをはじめ四号国道バイパス、福島消防署南部地区分道所などの工事が行われており、昔からの養蚕、稲作などの農村風景は日に日に変わり、福島市のベッドタウンとしてますます発展しそうな地域である。

発展が進む金谷川地区。正面は金谷川小

(福島市) (203)

ふるさとの地名の由来を書いた新聞記事＝昭和52(1977)年9月19日付
福島民報10面 県北版

教職員



校庭で観る。満天の
星空が大好きでした。

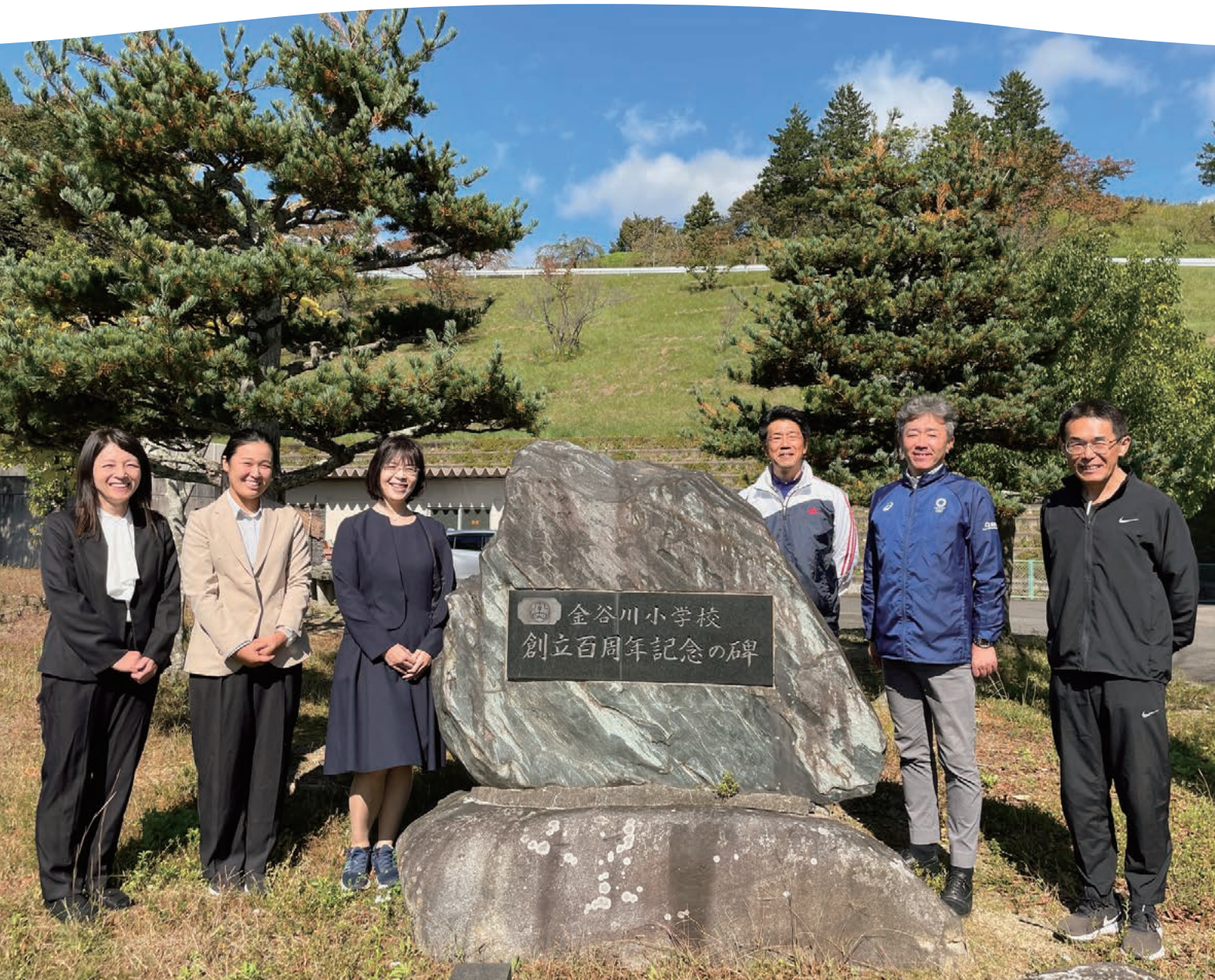
嶋原 誠

かなやがわ小学校ありがとう
なかよくみんなですごした時間
やさしい笑顔であふれた
がっこうでのたぐいさんの思い出たちは
わたしたちの中でずっと生きると
大東 志

「若竹」のように強くしなやかな
子どもたちを育てくれた金谷川
小学校。今まで本当にありがとう
ございました。教頭 武井 慎

若竹の 空に伸びゆく 夢の森
阿武隈の 響く汽笛に 誓い立て
希望咲く 金谷の校庭 春の風
金谷川小 佐藤 裕昭

ゆたかな自然の中で、広い校庭
を思いっきり走るみんなが
好きでした。金谷川小学校、
ありがとう! 加藤 万葉



金沢



小正、辰机、首菜だ
つ行く。思い出あり！
金谷川小
斎藤優子

親子、孫三代にわ
たりお世話になりま
した。有りかとうござ
います。(金沢)半沢タイ

たくさんの思い
出をありがとう！
鈴木(加藤)美代子

たくさんの事を学ば
せてくれてありがとう！
加藤正雄



绍々もと孫が歌う
と何分も70年前
歌っていたのよ、とて
もがつかく思出す。
半沢キン

私の人生の基礎を
築いた金谷川小学校
ありがとう 加藤昌永



親子共々通った
学校が、無くなるの
は残念ですが、これか
らの卒業に期待し、可
なりです。
松本秀

閉校統合は寂しいが
時代の流れ、また前
向きに新しい仲間、学が
見出来ていい環境であ
れば、
加藤範夫

朝反達とバスで
かおた小学校
なつかしい半沢雄

毎朝バス通学と
いう貴重な経験が
できました。ありがと
う。丹治昭一

楽しい思い出を
ありがとう
宗像 利夫

150年の歴史ある学校が
閉校になるのは、残念で
なりませし、でも時代の
流れでせむを得ないの
では... 清水美

関谷



母校が失くなる日
残念ですが、いっおま
いの中に残り続け
る。河野善部

金谷川地区の天童
会で大沢の作品を
取った事を思い出す
河野和子

運動会の昼食
時分に、紫色の
リボンを見えよう
安武男

少年時代の様々な
思い出を作ってくれた
小学校に感謝します。
尾形己芳

かんしゃ、お
なかい、お、ありがとう!!
やろ、勇気を持って
がんばることを教えてくれた
わたしの大好きな母校
おが金小♡石川 優

たくさんの思い出を
ありがとう。昔の木
造の校舎が懐か
しい。石川恵子

閉校になるのは残念
ですが、長い間、い
うと御世話様
に成りました。石川寛治

子供達の成長を
やさしく見守ってくれた
思い出の場所、忘れ
ないよ。安斉幸子

校庭のひまわり、花
壇、グラウンド、おどろ
きの思い出です。
渡辺志穂

楽しかった思い出ばか
りです。金谷川小学校
ありがとう。斎藤大智

親子3世代でお世話
になりました。楽しい思
出をありがとう。斎藤淳子

楽しい思い出の中に
ありがとう。わが母校
金谷川小学校
渡辺福夫

親子三世代
お世話に
なりました！
佐久間次男

親子三世代が通った
思い出、はいの
小学校。ありがとう！
佐久間智宏

教室で広場を作っ
て、コロスこうこ塾に
なかにいって即禁
うー残念 渡辺元



浅川笠松にあった
木造校舎が懐かし
い、でも時代の流れで
す。渡辺文敏

非常に残念です。

小学校がなくな
るのは本当に
ごんねんです

浅川



浅川、笠松地区の
旧金谷川小学校
が思い出の場所
渡辺足勝

金谷川小中学校の
合同運動会が
たのしみ。
澤崎豊

金谷川小学校の地区
運動会に参加でき
てありがとうございま
した。三浦たか子

金小卒業125年、今年お
楽しかったことなど
思い出します
斎藤美子

金谷川小学校での
教育、学生、生活
は、一生忘れません。
石川一志



金沢

たくさんの楽しい
思い出がつまった
学び舎 ありがとう
平林智里

金谷川小学校、
長い間 ありがとう
ございました。
吉田 薫

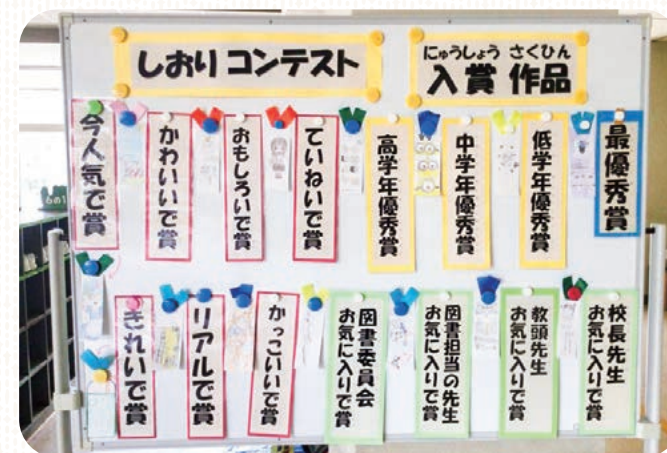


子供3人お世話に
なりました。金谷川
ありがとう
菅野敬子

スクールバスで4人
の子供が通学し、
学校の楽しい思い出
ありがとう 杉本直子

昔は金沢分校仲間
本校で2年間大変
お世話になりました。
本由由郎

自分も子供達も
お世話になりました
ありがとう 金小
斎藤弘史



金沢分校四年まで
本校中学五年間普通
片道四十分通学五年間
頑張りました。
加藤ケイ

百周年に家庭で人文
字写真を撮り、百周年
讃歌が採用され、皆々
で歌った 藤倉辰男

♪Ah~
金谷川小学校~♪
ステキな校歌でした
半沢和浩・芳浩
亮太・祐介

金谷川小
蓬田真太郎

友より卒業記念の仲間鑑の版材に
校歌の歌 手紙を投函しました
うたには子供の頃のメロディーがこぼれ
落ちていました

友より卒業記念の仲間鑑の版材に
校歌の歌 手紙を投函しました
うたには子供の頃のメロディーがこぼれ
落ちていました

友より卒業記念の仲間鑑の版材に
校歌の歌 手紙を投函しました
うたには子供の頃のメロディーがこぼれ
落ちていました

金谷川小学校でできた
思い出や友達は今でも
宝物です。見守ってく
れありがとう。斎藤

地域と深いつながりの
ある小学校の閉校は残念
ですが、新しく良い
環境で学習し頑張
ってください。藤倉辰男

金谷川小学校
懐いです。
斎藤浩二

1965年度卒業生
思い出の金谷川
小学校... 杉本直子

関谷

女性の校長
先生の時が懐
かしいです。
河野和子

幼い日の思い出が
いまだ校舎と見ると
思い出されます。
今更けありがとう 斎藤

授業でけん玉ができて
楽しかったです。休み
時間も熱中するほど
でした。鈴木里佳

自然あふれる金小で
息子娘が仲々過ご
した6年間は大切な
宝物です 菊地輝雄

校舎と大木
やぐらで金蹴
すこと良かった
斎藤

金谷川小学校の思い出は
心に残る。
渡邊 良美

だるまストーブに
温められた
たくさんのお弁当が
くさかった
渡辺孝一

心藏蔵昔日
渡邊 孝一

楽しく懐かしい思い出
は校舎での卒業
会とマラソン大会
でした。鈴木(旧斎藤)晴

母校が無くなったのは
淋しいですが、小学校
での楽しい思い出は消
えません。ありがとう 斎藤裕子



親子三代
お世話になり
思い出の母校
ありがとう。加藤正信

お祭りは金小
へ必ず行くよ
斎藤 順季



私の学びの舎
金谷川小学校
ありがとう
菊地 静子

昭和30年(小4)新しい
校舎に。新しい校歌
も。皆んなで唱いま
した。野地那智子

金小ありがとう!
加藤竜司

金小 ありがとう
尾形泰

金谷川小学校、
卒業生に栄光
あれ。加藤勝彦

ありがとう
板橋家代表
板橋柚季

大好きな金谷
川小 ちような
加藤達也

金沢小学校の桜

金沢



お疲れ様でした

後田 誠

思い出へ金小
ありがとう。

甲斐 研男

新校舎に移って初めて
の入学でした。きれいな
校舎で過ごせた6年。幸
せでした。菅田はるみ

沢山の思い出を
ありがとう

加藤 秀夫



時の流れでは方ない
ですが寂しいです
長い間有り難うござ
いました 加藤ヒロ子

金沢分校4年。本校
2年。いい6年間
楽しかったです
江原 雅道



親子三代お世話
にありがとうございました。
ありがとう。金沢丹治

長久あえだしく
35年まで
金谷川小学校
加藤 美治

金谷川小約150年
思い出をありがとう
そして、さようなら
昭和35年度卒
加藤 春男

金沢分校の閉校
が昭和。金谷川小
校が令和。時代の
流れ? 加藤 恵一

金沢分校・本校・現金
谷川小と一家8名が
お世話になりました。
感謝です。加藤 利男

楽しい思い出の
金沢分校 金谷川小
をへて ありがとう
ごさいます。加藤 孝子

関谷

祖父・父・私 息子・孫
と5代にわたる学んだ
金谷川小学校。金谷川
の名がまたひとつ消え
る。寂しいが、山田 泰一



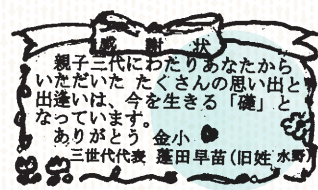
17人で過ごした
大切な校舎。今まで
ありがとう。楠田 辰雄

和次、フエ、和弘
和葉、大樹、新太
皆卒業生 丹野 和子

校庭が広くて
楽しかった
金谷 王英太

思い出に
"金小"に見守られ
stay up 寺山 幸山

母校が無くなるのは
寂しいですね!!
ありがとう 金小 恵野



金小のグラウンドから
子供達の元気な声
聞かなくなるかも
寂しいです。西村 千子

金谷川小中学校の
同級(窓生)は生涯
の友 高橋 愛子

楽しい思い出
たくさんありがとう
丹治 楓翔

育て見守ってくれた
学校に感謝し思い
出を胸に。尾形 博延

金谷川小中学校
ありがとう
思い出が
お世話になりました。

浅川

想い出は
子供の運動会への
参加。ありがとう 金小
尾形 誠一

ルを一つに奏じた
鼓笛がよい思い出
です。尾形 和葉

金沢・関谷・浅川が
しっかり手を合した
金谷川小中学校 いま
も寂しいありがとう
菊地 イネ

少数で出来なかった
事。多数になると
予想以上に発揚
する。高橋 忠夫

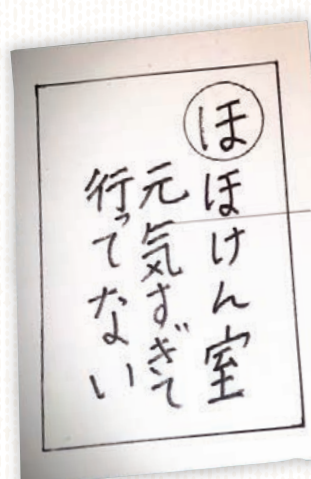


親子で金小卒
業で思い出話に
花が咲く 迫 英二

久しぶりにアルバム
見て、なつかしい思
いになりました。金小
ありがとう。迫 俊那

孫見守り隊員になり
子沢亭から元気笑顔
をもらってます。金小の
子達ありがとう 迫 千子

冬が来ると金小の
カトリック敷に冬だ
が当たった。かき
ありと食べた。尾形 幸一



鼓笛。うんう会
子供達にさよう
声。思い出がいつ
も三塚 力 あり

広い校庭で遊ぶ
のが楽しかったです。
ありがとう。さい
望井 智博

金小で友達と過ご
した日々は、毎日が
楽しかったです!
菅野 恵佑

楽しかったことも辛か
たことも1つ1つが大切
な思い出です!
菅野 佑季



金沢

金沢分校は本校と
義務教育学校へ
躍進し期待が
あふれる

たくさんの思い出
ありがとうございました。
これからの生きる支え
になります。加藤さつき



私達、子供たちも、
子供たちも、
に感謝です。
お世話になりました。
ありがとうございました。佐藤早苗

金沢分校がなく
なり中学校がなく
なり小学校もない
どうする沼崎香吉

恵まれた環境で
親子二代 お世話に
なりました。丹治秀明

折に触れ一緒に
口ずさんでいた校歌
が歌えなくなるのが
とても寂しい渡辺利子



新しくできた
フットサルコートで
時を楽しみました。

小規模だからこそ
分な年と目のやり合
い教育ができて来たと思
います。渡辺千恵子

夏休みプールに行
くのが楽しみで
した。加藤喜美夫

親子共々お世話に
なりました。
渡辺勝弘

金谷川小学校に
お世話になりました。
の誘い。渡辺幸次

150年の歴史
を築き上げて頂
き、ありがとうございました。

3人の子供達の学び
歴史が始まったたれ
られない。思い出多い
金谷川小学校です。
佐藤秀樹



150年たくさんの
思い出ありがとうございました。
河野 純

下校前に襲われた東日本
大震災。自分達を守ってく
れ一緒に乗り越えてくれて
ありがとうございました。佐藤和佳奈

市内一広い校庭で運動
をして、体が伸びていた
日々が楽しかったです。
ありがとうございました。佐藤幸大

金谷川小学校で過
ごせて幸せでした！
ありがとうございました！
長南 木風 志

伝統ある金谷川
小学校の卒業生になれて
うれしかった。玉坂悠祐

明和20年做がスライのころ
防空こう有りどの中に入り
足場が悪かったことが思
います。河野嘉市



金谷川小学校
今までありがとう
薮地将人

金谷川小学校の制服が来た
のは、おんなのこが着た
その制服を子供が着た
時が感動的のを思い出
します。

桜咲き小学校を
見上げれば、元
な声がこだまする。
菅野久子

金小卒の同級生
の多くが、互いの教育
に感謝しています。
西沢 隆幸

みんなのバの中
に金谷川小学校は
永久に有り続け
ます。佐藤孝一

150年
年間ありがとう
お世話になりました。
渡辺 幸次 外 賢二

長い間ありが
たうございました。
小 崎 孝 二



150年有難う御座
ります。子供たちも、
お世話になりました。
金谷川小学校は、
これからも、
よろしくお願いします。

子供三人 計十三年間
お世話になりました。
ありがとうございました。金小
齋藤 栄美子

広い校庭が、のびのびに
なるほど思い出があります。
たくさんの思い出、
子供たちや新しい場所が
楽しい時間を過ごせるように
祈っています。大槻 陽太



去りし日の吾子の学舎
悲しかり時代の流れ
痛感する。佐藤 洋子

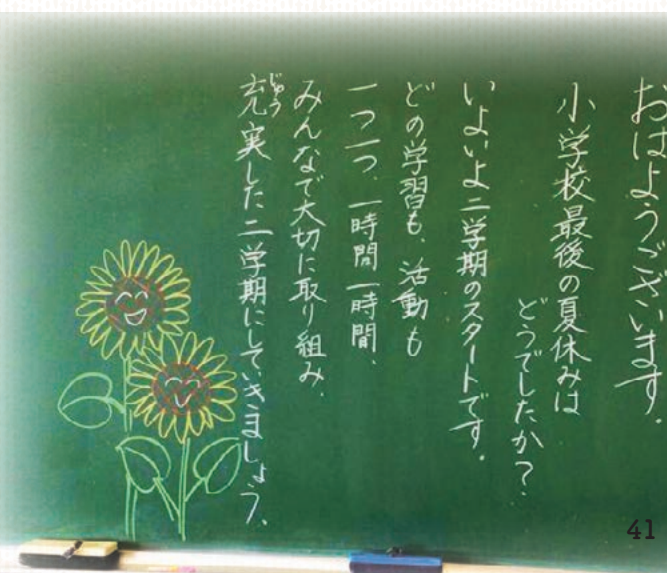
新しい校舎で時代は
金谷教育を受け継ぐこと
が出来る。将来を担う
子供達に羽ばたいて。尾崎 武

40年部小聖の中3の
余名の全校児童が
自分のイスを誇り
引越した。大槻 久史

金谷川小学校
お疲れ様でした
寺岡 健太

三代でお世話
になった金小。
ありがとうございました。
尾形 百合子

私達そののびのびと
育ててくれた金谷川
小学校に感謝します。
丹治 賢一



金沢



100周年に埋設
したタイムカプセル
が待っている
渡辺進司

金沢分校
金谷川小学校
思い出いっぱい
渡辺武夫

親子2代でお世話
になった金谷川小学校
ありがとう。
本田 喜久・朋久・孝久

分校から本校へ歩い
て通学しました。孫
もお世話になりました。
梅津英子

祖母と孫、同じ
校歌を歌え
るとも幸せでした。
思い出ありがとう!! 柳子

男7人、女14人
金沢分校時代
がたのしみ
新藤進

金小 服部 典子
は
いつも
心の中に

分校は更地完全無
くなったが本校はか
たちの残ることを希
望する 半沢力蔵

木造校舎の時から
ありがとう
加藤孝一



ありがとう
金谷川小学校
渡邊 正勝

関谷

いつの日か金谷川小学校
が復活し子供たちの姿が
戻ってくる偉い夢を見て
います 丹野 榮次

福島市で1番広い
校庭で行った運動
会は最高だった
丹野 順次



古い子ども系忠告
関谷の盆踊り
高野 静子

元気な子供達の声
楽しそうに踊っている
音楽が聞こえてくる
今福京子

叶わぬ願いと思い
つついつかは復活
をと母校に手を合
わせ 丹治和明

たくさんの思い出と
共に
菊地吉徳

お互いに切磋
琢磨して自分を育み
希望に満ちた学校
生活を送ってね 野瀬好

ありがとう 金谷川
小学校 皆歩いた道
楽しいよ 長瀬て子

金谷川の元気な源
が 蝉の声と共に去
りゆく
紺野カツ人

PTAで皆さんに応援を
お願い 2人の子供はす
くす育ちました地域
に感謝です 後藤美智子

たくさんの思い出
をありがとう
尾形美恵

金小 Bye Bye
ありがとう
さあがら 西沢ハナ

金谷川小学校と
共に成長しました
ありがとう
佐藤 由里香

未来も熟慮の町マイノ
リティ尊重の町である
ことを願う金小150
年に感謝 明石武重

親子3代で
通った金谷川小に
ありがとう 佐々木規夫

授業の始りと終り
は用務員さんが
鈴を鳴らして知れた
佐々木豊

私カノジにあって
いるのは、5・6年生
で行った思い出
旅行です。佐々木萌衣

私の思い出は、
こてきバレーです。
みんな一生懸命に
練習したからです。佐々木芽梨

秋の運動会、家族皆
んなで盛り、盛大に行
われ、楽しい昼ご飯を食
べた。 佐々木哲夫

150年の歴史に
幕を閉じるのは
残念です。丹野吉

浅川



ありがとう
金谷川小学校
丹治 昌人

いつまでも忘れない
金谷川小学校
ありがとう。柴田敦

金小150年の歴史、64年
前、書道展、運動会、断
り段も今? 段々開校
記念 尾形 好子香

たくさんの
思い出を
ありがとう 真歩

グランドづくし、温かい
弁当の味、夏の思い出
をありがとう 柴田 誠

自然豊かな
金谷川小学校
ありがとう 柴田 誠

『金谷川』代表名所、
小学校が消える
さびしいよ
S45年 渡辺 多吉

150年、その先様永劫
金谷川小学校は皆の
心のふるさとです。
宝です。丹治チエ子





PTAバレー部市連P優勝
やばすぎる。ガンバレと
はすばらしい。忘れない。
半沢ヨノ 90歳

姉弟全員で同じ
学校に通うことが
できてよかったです
野地

若竹班での芋煮会が
楽しい思い出の1つ
でした。 半沢幸子

120周年をみんなに祝っ
た日が懐かしいです。
沢山の思い出とありがとう
でした！ 半沢雄助

金谷川小学校で6年間
を過ごして卒業できてよか
たです。
ありがとう！ 加藤日向

金小での多くの思い出
はどれも宝物。
感謝に尽きる金小
ありがとう。半沢昭春

友だちと勉強・運動
楽しかった小学校。
金小ありがとう！
加藤幸子

親子二代全員で
6人。お世話
になりました 須田孝一

思い出の場所
いつでも語り合
えて下さい。

代々、お世話
になりました
丹治浩一

感謝
渡部真弓



昭和61年新築校舎・鼓笛隊
バトン先頭・リレー選手・思い
出有り難う・旧姓・星野このみ

金沢分校最後の
1年生でした…。
須田孝一

私は3年生まで分校か
お世話に8年4年が本
校へ移り楽しく通
うことができた
渡辺とさ子

金小・ありがとう
わすれないよ
沼崎舞・柳井稀

分校から金谷川
小学校へ2年間の
思い出ありがとう
ごきげんよ、中山裕子



自分通った木造校舎が
通った今の校舎、どうも
ありがとう
河野素子

親子とも金小に
お世話になり
ありがとうござい
ました。丹治昭三

郵便局、そして
小学校。数少ない
金谷川が一つ
消えていく……。せきや
河野英夫

運動会 みんなで
楽しんだ金谷川
小学校 丹治武雄

家族みんなの想い
出の場所金谷川
小学校 丹治キミノ

かじかむ手
やっとなんだ
石炭バケツ
丹治恵治

卒業して、半世記が
経ちました。あ
いまでも、いろいろな事が
思い出されます。渡邊好

2人の子供を育ててくれ
てありがとう。記憶に
しっかり刻まれています。
井出家

美しい思い出を
ありがとう
いつでもバノの中に
斎藤雅之

PTA 役員当時皆様の協
力により会の活動を活潑
に行なったこと今でも思い出
されます。 斎藤一美

親子三代、新旧校舎
でお世話になり、最後
な思い出。ありがとう
七ツ谷あけみ 斎藤誠

今までいろいろな
行事、思い出を
残してくれてあり
かとう。柴田公雄

思い出の小学校は
肉校になると、校歌は
常々に忘れ得ず
明石国昭

木造校舎の廊下
を歩いたのが
懐かしい 渡部真

若竹班では、沢山の
事を教えて頂き
感謝しがいけません
柴田裕唯

小学5年生の時、金沢
分校から本校に!!
お友達が、増えました
たのしみこ

PTA役員として創立
120周年記念式典に
関わった事が良い
思い出です 丹治利夫

娘達がミニバスケで
体育館を走り回っ
た頃の事が目に浮か
びます 丹治恭子

父も兄弟も子供も
そして孫も卒業生
です。ありがとう
金谷川小学校 長南規夫

自然に育まれて
子供達の笑顔、色
々な行事と共に年々
積み重ねる小学校
ありがとう。丹治孝

震災後の卒業式
感動的で一生の思い出に
なりました。先生方保護者に
感謝です。斎藤豊志誠

みんな金谷川小学校
わすれないでね!!
長南規夫



砂利道の国道4号線を
希望に満ちて通った
感謝の金谷川小学校
1年東組? 尾形健市

金谷川学園と
新校舎で更に前進
して欲しい(長原)

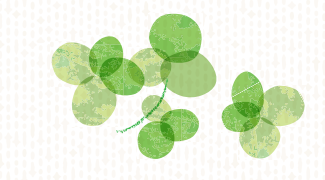
子供が入学した時
に聞いた校歌、誇ら
しい気持ちと世代の
つながりを感じた
星野佳

金谷川小学校で
過ごした日々は
良い思い出
丹治 佳央里(旧渡辺)

62年前家には金小と
金中の先生、駐在署
員が下宿していた
懐古である 斎藤茂

カクラの転生徒
やいばくたてと
これからはきかいに
むすね。丹野敦子

福島市の小学校の中へ
広い敷地で子供達が
のびのびと活動して
くれてありがとう。丹治孝



金沢



私は、金谷川幼稚園
の第一期生です。それから
金谷川小学校に入学し、
通った家の片道4km
あり、通った思い出が
大いにある。

僕も金谷川小学校へ
集団登校片道約
4km徒歩通学し、皆
帰り道に土で遊ぶ
思い出が、大いにある。

私達の学生時代は
生徒も今より多く
みんなが登下校
した思い出がある
丹谷 政幸

金谷川小学校を
僕らの思い出の中
にある
伊丹 忠



ありがとう、お蔭で
金谷川小学校
思い出、いつか
思い出、思い出

時が移ると谷川
の黄金の恵みと
豊かな幼子 伊藤 夫

息子二人がお世話に
なりました。ありがとう、
そして忘れません！
佐久間 真二

谷川小学校を渡
りお世話になりました。
谷川小学校を渡
りお世話になりました。
石川 長政

広い校庭での鬼ごっこ
は少なかったです。
無くなるのはマズい
です。 / 今村 孝典



金小た（さん）の
思い出ありがとう
坂本 志織、彩葉 拓真

元気な新入生
の声、希望の花
咲く、杉本 孝典

旧校舎から新校舎へ
引っ越して大変でした。
太田 優子

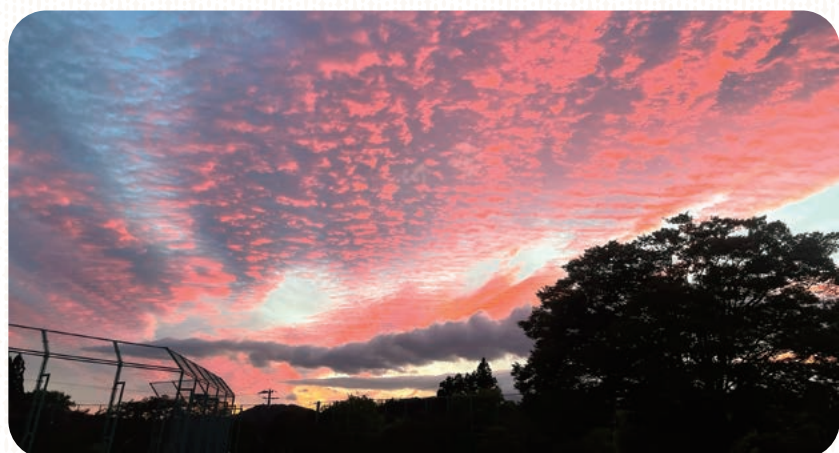
昔話の主人公は、
新しい学校へ臨む
人との出会い、
仲間たち

4世代
金谷川が
前田 稔

開校になっても、子供
から大人まで、みんな
で集える場所にな
れば幸いです。奥戸 啓

旧校舎、六年間
ありがとう
高 裕正元

読み聞かせ
の思い出、瞳
目に残る 丹野 伸



金谷川小学校閉校記念事業実行委員会委員名簿

顧問	尾形 武 丹野 榮次	大槻 久史 渡辺 忠雄	加藤 一郎	明石 武重
実行委員長	丹治 和明			
実行副委員長	旗野 礼子	玉坂 賢一	長澤 忠敬	尾形 寅昭
事務局 長	菊地 吉徳			
庶務	武井 慎	山田 泰広	丹治 昭一	
会計	伊藤 明子	石川直緒美		
監事	渡辺 善一	丹野 忠由		
記念誌部会長	佐々木和洋			
記念誌部会副部会長	高野 賢一			
記念誌部会員	齋藤 弘史 菅田 利男	齋藤 一美 河野 政彦	山田 泰一 河野 信子	佐藤 貢 渡辺 典雄
記念碑部会長	佐々木規友			
記念碑部会副部会長	門間 千春			
記念碑部会員	菅野 信 長南 太一 齋藤 寿子	河野 素彦 高橋 政勝	高橋 愛子 齋藤 忠吉	齋藤 佳子 河野 信一
記念式典部会長	長南 俊二			
記念式典部会副部会長	鈴木 英大			
記念式典部会員	長沢 勝市 長南 浩幸 渡辺 良美 及川 きよ子 明石 国昭 長南 成浩 大塚 光男 佐藤 秀樹 河野 郁夫	加藤 昌永 石川 秀夫 長澤 徹 高橋 一郎 長南 和江 加藤 ミツ子 佐久間 真二 柏村 郁治 坂本 守	渡辺 義明 齋藤 直喜 安田 武男 菊地 芳太郎 佐藤 成治 立野 旭 河野 長吉 井出 孝利	渡邊 進司 遊佐 哲 石川 正明 渡辺 清 前田 稔 渡辺 悟史 安齋 幸子 齋藤 真央

編集後記



下校するA子さんからプレゼント
されました。「さっき見つけました」と
益々幸せな気分で、教職生活を
終えることができました。
ありがとうございました。感謝。

金谷川小学校の閉校記念誌「わかたけ2024」の発行にあたり副部会長という重大な任務を与えて下さり、微力ながらも協力出来たことありがたく思います。

佐々木部会長のもとと部会の方々と打ち合わせを重ねてすばらしい記念誌ができました。

金谷川小の長い歴史を再確認でき、編集しながら自分の当時の記憶を思い出せました。

これから子どもたちが変わらず、のびのびとした学校生活を送れることを願っています。

金谷川小学校ありがとう。 高野 賢一

小4の時に金沢分校閉校を経験し、今度は金小閉校と、学んだ学校が無くなってしまふのは寂しいですが、最後に閉校記念誌編集のお手伝いが出来たのは良かったです。

編集では、地域のみなさんをはじめ、多くの方々の御協力をいただき完成しました。ありがとうございました。 齋藤 弘史

記念誌編集作業をしている時、真っ先に思い出されたのは、卒業式を新校舎で行いたいと、ひな祭りの日に新校舎に全児童がランドセルに少しずつ荷物を入れて背負い、楽しく歩いて引っ越ししている姿です。

金谷川小学校、たくさんの思い出をありがとう。 齋藤 一美

「わかたけ2024」を発行する事ができました、ご協力頂いたみなさんに感謝致します。

私が「わかたけ」を称するものの発行に関わるのは今回で7回目、最初は金谷川小学校PTA広報誌となります。

ちょっと油断すると子どもたちの写真集になってしまうPTA広報誌ですが、広報部員と先生方で認識を合わせ保護者や教職員の活動も含めた広報誌作りを行いました。そして当時の校長 穴澤先生、広報担当 川島先生に初校を提出すると真っ赤にペン入れされた原稿が戻された時は愕然としましたが、意見交換しながら2年間で6回発行したことが思い出されました。

この時の経験と、経験豊かな先輩方と共に今回の活動が始まりました。

校歴にあたっては発行されている金沢と金谷川の記念誌、金谷川小学校のホームページを引用させて頂きながら、情報の確からしさを確保するため夜遅くまで資料の照合を繰り返しました。また、ひろく金谷川のみなさんの思いも詰め込みたいと思い、町会長さんをはじめ多くの方々のご協力を頂き、温かみのある手書きメッセージを掲載する事ができました。

我々だけでは出来ないことでは、金谷川小学校の現状情報の提供には校長 旗野先生、教頭 武井先生とPTA会長 玉坂さんに、福島大学ドローンサークルの方々には学業の合間を縫って金谷川小学校の空撮を引き受けて頂きました。これらの企画段階からアドバイス、編集発行まで民報印刷 吉田さんをはじめ多くのスタッフの方々にもご協力頂きました。ご協力頂いた全ての方々に感謝致します。

結びに左側のクローバーの写真とメッセージを紹介させて頂きます。

これらは金谷川小学校ホームページからの引用となりますが、離任式当日の一コマのようです。このような温かみのあるつながりを、「金谷川のみなで続けていきたいなあ」と思いました。

佐々木 和洋

小学校は身近にあるものと思っていました。残念ながら今年度で閉校となり、この記念誌が作られました。幾度もの会合、少しずつ形となっていく冊子、最後には地域の皆様に届けられる冊子。

ぜひ家族でありし日の金小を思い出して下さい。 河野 政彦



写真や資料探しにご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

多くの卒業生の話を聞きながら、思い出の詰まった記念誌を作るお手伝いができました。 河野 信子

金谷川小学校最後の在校生、教職員の皆様へのメッセージ、地域の皆さまのメッセージに込められた思いが、いっぱい。

残念ながら閉校という現実を受け止めなければならない。「つらい。」

その閉校記念誌発行に微力ながら参加できた事に感謝致します。 菅田 利男

最後の記念誌にかかわることができ、原稿を書いてくれた児童の皆さんや、先生方、地域の方々のおかげでとても良いものが出来たと思います。

みなさんの心の中に残るものであることを願っています。 渡辺 典雄

151年と長い歴史の編集を部会長さん部会員の皆さまと、まとめ色々と勉強になりました。

地域の人たちの声など、こんな事もあったのかと忘れていた事を思い出せる事を願って作りました。

金谷川小学校の事は皆さまの心の中にいつまでも消えない事を願っています。

文章を書く事を思い出させてもらい、楽しい時間も頂きました。 佐藤 貢

昭和の時代が続いたとすれば今年は昭和100年となる。私が金谷川小のPTAに関わったのは長女が入学した2年目の昭和58年。

小学校移転期成同盟会が発足、61年に新校舎が完成してからは歴代の役員と共にPTA活動に動しんだ。振り返ってみると、今回、記念誌委員みんなで関わった明治・大正・昭和・平成・令和と151年の歴史が詰まった「記念誌」。子どもたち孫たち我が家の一生の宝物、思い出の一冊になることと確信します。 山田 泰一

校章

初代校章

初代校章は、昭和29年(1954年)の木造校舎新築を記念し作られました。桜の花の中央に野球のボールをかたどった『小』の文字を描き、8個の「金」がそれを囲み、金が8個で「かなや」を表しています。これを囲む5個の花びらのひとつひとつに「おしべ」で川の文字を描いています。

当時としては、かなり斬新なデザインの校章となり金谷川の子供も達が、美しい自然の中で健康で、たくましくそして仲良く、こころ豊かに活動する事への願いが込められています。

デザインは昭和29年(1954年)当時、本校に勤務されていた鈴木勇先生の考案によるものです。



2代目校章

校舎のまわりや土手にクローバーがいっぱい生えており、学校全体が緑に包まれています。花が咲くと子ども達は摘み草で長い首飾りを作ったり、四つ葉のクローバーを探したりし楽しく遊んでいました。

踏まれても、むしられても大地に根をはって自分の力でグングン伸びるクローバーの葉をかたどり緑色とし、中央に金谷川小学校校名を略し「金小」を金色ではっきりと表しています。



わかたけ 2024

福島市立金谷川小学校閉校記念誌
令和7(2025)年3月21日

発行 金谷川小学校閉校記念事業実行委員会
〒960-1245 福島県福島市松川町浅川字陣場21
空撮 福島大学ドローンサークル
印刷 株式会社 民報印刷

